

人は分かり合いたいと願った時、
もう分かり合えているのかもしれないね。

上映会 北の果ての 小さな村で

Une année polaire

世界一大きな島 グリーンランドの、人口わずか80人の村にデンマークから1人の青年教師がやって来ました。
そこには、しなやかに力強く生きる人々の、シンプルだけど豊かな暮らしがありました。



2018

カンヌ映画協会
青少年スクリーニング部門正式出品



2018

サンダンス映画祭
ワールドシネマ部門正式出品



2018

ヴァランシエンヌ映画祭
(Festival 2 Valenciennes) 審査員賞

©2018 Geko Films and France 3 Cinema 配給：ザジフィルムズ



2025/9/25 木 18:30 - 20:15
(18:00 開場)

オホーツク・文化交流センター
エコセンター2000(エコホール)
[網走市北2条西3丁目 TEL 0152-43-3704]

入場無料(整理券が必要です)

◆整理券配布場所◆

オホーツク・文化交流センター
フジヤ書店[網走市南2条東1丁目]
北方民族博物館 各受付

2025
8/8から
整理券
配布開始

【問合せ】一般財団法人 北方文化振興協会

〒093-0042 北海道網走市字潮見309-1 北方民族博物館内 TEL 0152-45-3888 FAX 0152-45-3889

□主催／一般財団法人 北方文化振興協会・北海道立北方民族博物館 □後援／網走市、網走市教育委員会、網走市文化連盟

※都合により内容の変更や中止となる場合がありますのでご了承ください。

北の果ての小さな村で Story

グリーンランド東部にある人口80人の村、チニツキラークの小学校に赴任した、デンマークの新人教師アンダース。極寒の地の慣れない生活にくわえ、言葉も習慣も異なる10人の生徒たちとうまく交流できず、教室はさんざんな有り様だ。さらに、“ヨーロッパのよそ者”への視線は厳しく、村人からは孤立気味…。



そんなある日、児童の一人、アサーが連絡もなしに学校を一週間欠席する。心配になったアンダースが、アサーの家を訪問し訳を聞くと、祖父のガーティと犬ぞりで狩りの旅にいったというのだ。

「犬ぞりは楽しいでしょうが、彼にとっては学校も大切です。勉強が遅れると町の中学へ行ったらときに苦労しますよ」。アサーを毎日学校に来させるよう祖母のトマシーネに伝えるが、「アサーの夢は猟師になること、人生に必要なことはすべて爺さんが教えるわ」と、アンダースの意見を受け入れない。デンマーク語を教える以外に、アサーのために何ができるのかアンダースは考えはじめる…。



第39回 北方民族文化シンポジウム 網走

映像と北方諸民族文化 2

Visuals and Northern Peoples Culture 2

対面 &
オンライン開催

写真や映画など視覚表現を人類学的に研究する映像人類学では、北方民族文化を対象とした数多くの成果が上げられてきました。本シンポジウムでは、昨年に続き、北方地域の事例を中心に民族文化を対象とした映像表現について検討します。

日程 2025年10月11日(土)・12日(日) 各日 9:00-16:00 【参加無料】

会場 オホーツク・文化交流センター エコセンター2000 (大会議室)

[網走市北2条西3丁目 TEL 0152-43-3704]

北海道立北方民族博物館 第40回特別展

雪原を駆ける 北方民族・冬の移動手段

長い冬の間、北方地域の大地には雪が降り積もり、川や湖は凍結します。夏とは異なる雪氷に覆われた環境で効率よく移動するため、北方に暮らす人々はさまざまな工夫をこらしてきました。本展示では、北方諸民族によって創り出され、洗練されてきた冬の移動手段について紹介します。

会期 2025年7月19日(土)～10月19日(日)

会場 北方民族博物館 特別展示室

特別展観覧料 一般 450円、65歳以上 300円、高大生 200円



特別展では
グリーンランドの
犬ぞりなどを
展示!

犬ぞり/エスキモー(グリーンランド)
撮影:城野誠治

【北方民族文化シンポジウム、関連事業についての問合せ】

一般財団法人 北方文化振興協会 〒093-0042 北海道網走市字潮見 309-1 北方民族博物館内 TEL 0152-45-3888